

水俣学講義 10年の歩み

教育としての水俣学：学部から大学院までの教育、研究センターとの蓄積を教育に

- 1999年 原田正純氏 熊本学園大学赴任
水俣学研究プロジェクト開始
- 2002年 水俣学講義開始
- 2003年 大学院社会福祉学研究科博士課程設置
- 2005年 水俣学研究センター設立
大学院福祉環境学専攻（修士課程）開設
オープンリサーチセンター事業開始
- 2010年 戦略的研究基盤形成開始

2002年度 第1期 水俣学講義

- | | |
|------------------------------------------------|------------------------------|
| 1. なぜ水俣学か、本学で開講するわけ
水俣病の歴史(1)水俣病の発見から原因究明まで | 花田昌宣（熊本学園大学）
原田正純（熊本学園大学） |
| 2. 水俣病の歴史(2)胎児性水俣病の発見、新潟水俣病 | 原田正純（熊本学園大学） |
| 3. チッソの企業体質と技術-チッソ史- | 宇井純（沖縄大学教授） |
| 4. チッソ労働者と水俣病-公害病と職業病との関係- | 山下善寛（元チッソ労働組合委員長） |
| 5. 水俣病と映像-映像の持つ意義- | 桑原史成（報道写真家） |
| 6. 水俣病とマスコミ-マスコミが果たした役割と責任- | 高峰武（熊本日日新聞社） |
| 7. 水俣病と法-水俣病裁判の概要と意義- | 富樫貞雄（志学館大学教授） |
| 8. 水俣病患者の闘い-公害と差別- | 宮澤信雄（フリージャーナリスト） |
| 9. 海の生態系と漁業 | 佐藤正典（鹿児島大学助教授） |
| 10. 被害者の想い-闘いの日々 水俣病患者・家族 | 浜元二徳 |
| 11. 水俣病被害補償の経済学 | 花田昌宣・酒巻政章（熊本学園大学） |
| 12. 世界に広がる水銀汚染-水俣が持つ意味- | 原田正純（熊本学園大学） |
| 13. 水俣学まとめ-教訓をより確かなものに- | 原田正純（熊本学園大学） |

2003年 第2期 水俣学講義

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. なぜ、本学で水俣学か
水俣病事件は終わっていない | 坂本正（熊本学園大学学長）
原田正純（熊本学園大学） |
| 2. 水俣病患者家族から訴えたいこと | 上村好男（患者家族） |
| 3. 水俣病におけるライフストーリーの研究 | 萩原修子（熊本学園大学） |
| 4. 記録映画作家の“原罪”について | 土本典昭（映画監督） |
| 5. 離礁 水俣病対策に取り組んで | 吉井正澄（前水俣市長） |
| 6. 新潟水俣病の三十年 | 坂東克彦（前新潟水俣病弁護団長） |
| 7. 社会現象としての水俣病-水俣病事件の構造的理解- | 田中祐一（熊本学園大学非常勤） |
| 8. 社会福祉としての水俣病事件 | 小野達也（熊本学園大学） |
| 9. 報道としての水俣病事件 | 小林直毅（長崎県立シーボルト大学） |
| 10. 水俣病における食品衛生にかかわる問題 | 津田敏秀（岡山大学） |
| 11. 微量水銀汚染の胎児に及ぼす影響（キンメダイは危険か） | 原田正純（熊本学園大学） |
| 12. 水俣病における認定制度の政治学 | 原田正純（熊本学園大学） |
| 13. 水俣学二期めで何が見えてきたか、展望 | 花田昌宣（熊本学園大学） |

2004年 第3期 水俣学講義

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1 水俣病事件史(医学の役割と責任)
(台風のため中止) | 原田 正純(熊本学園大学) |
| 1) 水俣学の展望(熊本学園大学の取り組み) | 花田昌宣・原田正純(熊本学園大学) |
| 2) 風土の神々 | 石牟礼道子(作家) |
| 3) 水俣病関西訴訟最高裁判決を迎えて
(台風のため中止) | 川上敏行(水俣病関西訴訟原告団長) |
| 3) 水俣病にみる環境倫理 | 霜田求(元熊本学園大学・現大阪大学) |
| 4) 水俣病裁判と和解 | 板井優 (水俣病弁護団) |
| 5) 水俣病と私 | 沢田一精(元知事・元国會議員) |
| 6) 水俣病差別 | 羽江 忠彦(熊本学園大学) |
| 7) 水俣病と教育 | 田中 睦(水俣第一小学校教諭) |
| 8) 水俣病と国家 | 宮本 憲一(滋賀大学学長) |
| 9) 水俣病との出会い | アイリーン・スミス(写真家) |
| 10) カナダ水俣病(問題のグローバル化) | 宮北 隆志・原田 正純 |
| 11) 1月12日 まとめ | 原田正純(熊本学園大学) |

2005年 第4期

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 水俣学4期目を迎えて | 花田昌宣(熊本学園大学) |
| 2. 水俣病50年 | 原田正純(熊本学園大学) |
| 3. 事件史からみた最高裁判決の限界 | 富樫貞夫(熊本学園大学) |
| 4. 水俣病を原点にした大学授業 | 木野茂(立命館大学) |
| 5. 生命の記憶よ蘇れ | 緒方正人 |
| 6. 休講(学園祭のため) | |
| 7. 「環境モデル都市」水俣：取り組みの成果と課題 | 宮北隆志(熊本学園大学) |
| 8. 水俣・厳存する風景 | 芥川仁(写真家) |
| 9. 地域調査の方法と実践 | 守弘仁志(熊本学園大学) |
| 10. 水俣に住んで30年 | 高倉史朗(ガイアみなまた) |
| 11. 語っておきたいこと | 松本勉(水俣市民会議) |
| 12. 新潟水俣病と取り組んで | 斎藤恒(木戸病院名誉医院長) |
| 13. 私と水俣病報道 | 村上雅通(RKKディレクター) |
| 14. 水俣病と取り組んで(シンポ)
締めくくり | 熊本学園大学大学院生
原田正純 |

2006年 第5期水俣学講義

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1 「水俣病公式確認50年のいま：水俣病は終わっていない」 | 花田 昌宣(熊本学園大学) |
| 2 「水俣における福祉の歩みとこれからの課題」 | 永野 ユミ(元水俣市立病院ワーカー) |
| 3 「微量水銀を測る」 | 赤木 洋勝(国際水銀ラボ) |
| 4 「水俣病の『責任』と『教訓』—哲学・倫理学からの応答—」 | 丸山 徳次(龍谷大学) |
| 5 「水俣病認定の義務付けを求めた溝口訴訟の意義と課題」 | 東 俊裕(東法律事務所) |
| 6 「ここに生きる希望をつくる地元学」 | 吉本 哲郎(水俣病資料館館長) |
| 7 「新潟水俣病の現状と課題」 | 関 礼子(立教大学) |
| 8 「私と水俣病」 | 佐藤英樹(水俣病被害者互助会会長) |

- 9 「犯罪としての水俣病」 富樫 貞夫 (熊本学園大学)
- 10 「国会議員として水俣病に関わってきたー水俣病事件、完全解決の視点ー」
馬場 昇 (元代議士)
- 11 「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」 宮北 隆志 (熊本学園大学)
- 12 「差別と人権の視点から見た水俣病事件」 花田 昌宣 (熊本学園大学)
- 13 5期目を終えて 原田 正純 (熊本学園大学)

2007年 第6期 水俣学講義

- 第1回 「水俣学への招待」 花田 昌宣 (熊本学園大学)
- 第2回 「脳と水銀：水俣学現地センターの医療相談室からみえてくる“風景”・・・虫の視線、鳥の視線からみると、そして」 下地 明友 (熊本学園大学)
- 第3回 「小宇宙をみるー水俣病を取材して」 農 孝生 (熊本日日新聞社)
- 第4回 「公害健康被害救済法に基づく認定処分に係る行政不服審査請求の裁決をめぐる」
和田 勝 (国際医療福祉大学)
- 第5回 「わが亡きあとに洪水は来たれ！」 鎌田 慧 (ルポライター)
- 第6回 環境問題と日本の役割ーアジアへの社会科学的パースペクティブ
淡路 剛久 (早稲田大学)
- 第7回 「豊島・上勝から水俣を見るー『不法投棄事件』『まちづくり先進地』・・・よその現場からの水俣再認識ー」 藤本 延啓 (熊本学園大学)
- 第8回 「疫学調査と水俣病」(仮題) 有馬 澄雄 (水俣病研究会)
- 第9回 「胎児との約束ー生まれえなかった生命からのメッセージ」
板井 八重子 (くすのきクリニック)
- 第10回 「故郷を離れた患者たち：名古屋・水俣病を告発する会と東海地方在住水俣病患者家族互助会から」 一本木 康二・原武 千潮 (名古屋・水俣病を告発する会)
- 第11回 「水俣病の補償問題から何を学か」 富樫 貞夫 (熊本学園大学)
- 第12回 「不知火の海に生きる」 杉本 栄子・雄 (水俣病患者)
- 第13回 「水俣からいのちのメッセージ」 原田 正純 (熊本学園大学)

2008年 第7期

- 第1回 水俣学事始め： 原田正純 (熊本学園大学)
- 第2回 社会的コンフリクトと水俣病： 花田昌宣 (熊本学園大学)
- 第3回 水俣病と社会的共通資本： 宇沢弘文 (日本学士院会員、東京大学
名誉教授)
- 第4回 僕が写した愛しい水俣： 塩田武史 (フリーカメラマン)
- 第5回 水俣学が目指すもの： 原田正純 (熊本学園大学)
- 第6回 水俣病事件と地域社会・水俣： 丸山定巳 (熊本学園大学)
- 第7回 あの頃のこと (昭和31年5月)： 坂本フジエ (水俣病患者家族)
- 第8回 足尾鉍毒事件は、終わっていない！： 坂原辰男 (田中正造大学 事務局長)
- 第9回 水俣病が映す「人間の政治」： 栗原彬 (立命館大学教授)
- 第10回 「新潟」における胎児性水俣病児の発達と教育： 金田利子 (白梅学園大学教授)
- 第11回 水俣病事件を経済学はどう受けとめるべきか： 除本理史 (東京経済大学教授)
- 第12回 公害認定から40年： 富樫貞夫 (熊本学園大学)
- 第13回 持続可能な地域社会の構築と「水俣学」： 宮北隆志 (熊本学園大学)
- 第14回 第7期のまとめ／若手からの報告： 原田正純 (熊本学園大学)

宮部修一・井上ゆかり（熊本学園大学）

2009年 第8期 水俣学講義

- 第1回 「水俣学への誘(いざな)い」 花田昌宣（熊本学園大学）
第2回 「水俣病五十年」 原田正純（熊本学園大学）
第3回 「水俣病に対するチッソの責任と特措法」 富樫貞夫（熊本学園大学）
第4回 「水俣病と私と娘」 諫山茂（水俣病互助会）
第5回 「東京で見たもの」 宮本成美（写真家）
第6回 海洋汚染防止への水俣湾の教訓 松橋鐵治郎（元・長野県食品工業試験場長）
第7回 「漁師 松崎忠男の一生」 松崎忠男（水俣病患者連盟代表）
第8回 「臨床心理学実践の立場から、新潟水俣病と水銀の古代史料に近づく」 佐藤忠司（新潟青陵大学教授）
第9回 「なぜ初期水俣病への対処を行政は誤ったのか？」 船橋晴俊（法政大学教授）
第10回 「水俣病とむきあった労働者たち」 元新日窒労組組合員
第11回 「水俣病の「定説」に対する疑問－医学生および医師としてのかかわりを通して感じる事」 鶴田和仁（潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院副院長）
第12回 「「環境首都」をめざす水俣と5つの円卓会議」 宮北隆志（熊本学園大学）
第13回 「まとめ」 原田正純（熊本学園大学）

2010年 第9期

- 第1回 『水俣を視る眼：水俣学の試み』 花田昌宣（熊本学園大学）
第2回 『水俣病の50年』 原田正純（熊本学園大学水俣学研究センター顧問）
第3回 『水俣病の発生・拡大と地域社会』 丸山定巳（熊本学園大学）
第4回 『慢性ヒ素中毒－世界の現況』 堀田宣之（桜が丘病院理事長）
第5回 『水俣湾・八代海底質中水銀の三次元分布』 富安卓滋（鹿児島大学大学院理工学研究科教授）
第6回 『いま国連で生きる水俣の教訓－水銀条約』 井芹道一（熊本日日新聞政経部長）
第7回 『豊かに生きるとは』 旗野秀人（新潟水俣病安田患者の会事務局）
第8回 『81歳・波瀾万丈の生きざま』 宮本 巧（水俣病患者）
第9回 『「私」と「公」の狭間のなかで』 潮谷義子（長崎国際大学学長・前熊本県知事）
第10回 『房総のイワシ漁業の歩みとイワシの生態』 平本紀久雄（元千葉県水産試験場）
第11回 『化学物質管理に関する国際動向』 中地重晴（熊本学園大学）
第12回 『健康影響評価の可能性と限界－タイ・マプタプット工業団地のを事例として』 宮北隆志（熊本学園大学）
第13回 『公害と社会福祉：水俣病事件の現在と課題』 花田昌宣（熊本学園大学）
第14回 『まとめ』 原田正純（熊本学園大学水俣学研究センター）